

**イントラリンクス・ディール・フロー・インジケータ(DFI)  
日本を含むアジア太平洋地域(APAC)のディール活動の先行見通し 前年同期比 18%増加と予測**

*初期段階にあるM&A活動を統計的に分析し、将来のM&A活動を見通す指標DFIは  
APACのディール活動において堅調な動き 前年同期比で好調な伸び*

企業間の機密情報共有およびコラボレーション・ソリューションをクラウドベースで提供する大手グローバルプロバイダー、イントラリンクスホールディングス(Intralinks® Holdings, Inc., 本社:米国ニューヨーク、日本オフィス:東京都千代田区)(NYSE:IL)は本日、今後の合併および買収(M&A)活動レベルを予測する独自の指標であるイントラリンクス・ディール・フロー・インジケータ™(DFI)の最新版 2014年第1四半期版を日本で発表しました。

イントラリンクス DFIは、今後6ヵ月または2014年第3四半期までに発表される世界のM&Aディールの取引規模の将来動向予測を提供します。

**イントラリンクス DFI APAC ハイライト**

- 世界におけるM&A活動:前年同期比 16%増
- 特に日本を含むAPACのM&A活動が堅調なパフォーマンス(前年同期比 18%増、前四半期比 10%増)

2014年第1四半期、2013年にみられた高水準のM&A活動に続き、2014年もその上昇機運が安定して続くことを示しています。2014年3月末時点の最新データによれば、世界の初期段階にあるM&A活動は前年同期比で16%増加しました。中でもAPACは前年同期比18%と急増、また前四半期比でも10%増加するなど、M&A活動が好調であることが示されており、減速している中国経済がディール動向に影響を与えている兆候はみられませんでした。

2014年第1四半期、北米においての最大の消費材セクターのディールには日本の買い手が関与しました。サントリーホールディングスは、ジムビームなどを販売する米蒸留酒最大手ビームを154億米ドル(約1兆600億円)で買収する計画を発表しました(5月1日に買収が完了)。このディールにより、サントリーホールディングスは世界3位の大手蒸留酒製造業者となり、世界中で両者のブランド展開が可能となります。また北米で注目を集める他のディールでも、日本の買い手が関与しました。このような現象は、日本の国内市場が停滞しているために日本企業が成長機会を海外に求めていることによると思われる。

「世界のM&A市場は健全で、高水準の活動が続いており、M&A関係者たちは引き続き楽観しています」とイントラリンクスストラテジー/プロダクトマーケティング担当バイスプレジデントのフィリップ・ウィッチェロ(Philip Witchelo)は語ります。

「良好な融資環境と、企業、プライベートエクイティが資金効率を高め、M&Aによる急速な成長が必要なことが、M&A市場の競争の要因となっています。あらゆるセクターにおいてディール件数は増加し、2014年は特にテクノロジー、テレコム・メディア・エンターテインメント、消費材などのセクターで、さらに大型ディールの発表が予想されます」

「日本を含むAPACでのディール件数はとりわけ目を見張るものがあり、同地域では2010年第1四半期以来、連続して前年同期比増が続いています。イントラリンクスのDFIによると、今後6ヵ月間、APACが力強い成長を続けることを示唆しています」とウィッチェロは付け加えています。

### イントラリンクス DFI ハイライト – 2014 年第 3 四半期の見通し

イントラリンクス DFI は、世界各地で行われるセルサイドの M&A マンデートとデューデリジェンス段階に達している発表前の初期段階にある大部分の M&A 活動を追跡調査し、それに基づく統計的分析により、世界の M&A マーケットの活動レベルを予測するイントラリンクス独自の先行指標です。独立系の統計分析調査によれば、イントラリンクス DFI は、発表される M&A 取引件数に関する将来の変化を予測するうえで信頼できる指標であり、DFI の変動率は、通常およそ 6 カ月後に発表されるディール統計に反映されています。

直近のイントラリンクス DFI のハイライトは以下の通りです。

**北米:** 初期段階にある M&A 活動は前年比 11% 増、上昇機運を維持。ディール件数は前四半期比 6% 減少しているものの、大半は季節要因であり、米国市場は依然堅調

**欧州、中東、アフリカ (EMEA):** 引き続き堅調。前年同期比 21% 増、前四半期比 5% 増。当社の調査では、ウクライナ情勢を巡る同地域の不安定さへの懸念による M&A に対する意欲はそがれておらず、M&A 活動への影響はない

**新興国市場:** 南米では 2013 年からのトレンドが続き、ディール件数は前年同期比で 13% 増加したものの、前四半期比では 10% 減少。同地域の M&A 関係者は 2014 年後半についての楽観していない

イントラリンクスは、世界の M&A マーケットの将来に対する市場心理を計測した別の世界調査についても発表しています。

### グローバルセンチメント調査

2014 年 3 月、イントラリンクスは日本を含む世界の M&A プロフェッショナル 1,000 人以上を対象に、M&A 市場についてのディールメーカーのセンチメントや見解を測るための独立した調査を実施しました。この調査結果ハイライトは以下の通りです。

- 全体として、M&A プロフェッショナル回答者の **63%** は、現在のディール環境を楽観しており、前四半期のセンチメントから変化していない
- **回答のうち 73%** は、今後 6 カ月で M&A 活動が活発になると回答。同調査への前四半期回答およびイントラリンクス DFI のデータと一致
- 北米地域の回答では、2014 年の今後のディールについて最も楽観的であり、**70%** が増加を予想。南米は最も悲観的で、年内のディール活動の増加を予想した回答は **47%** のみ

同調査では、ディールを阻む最大の障壁は、売り手と買い手の評価額の差異であることに全回答者が同意しています。特にドイツの回答者は製造業におけるエネルギーコストからの圧力も感じており、国際投資家にとってドイツの M&A 対象企業の魅力がやや失われていることに、回答者の 53% が同意しています。さらに、英国の回答者の 63% は、住民投票でスコットランドの独立が可決された場合、M&A に悪影響を及ぼすと予想しています。

### 商品・サービスについてのお問い合わせ:

イントラリンクス 日本オフィス  
東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー15F  
email: [japan@intralinks.com](mailto:japan@intralinks.com)

### 報道機関からのお問い合わせ (広報代行):

(株)エム・アンド・エル 福島邦夫 Tel: 090-2210-4991  
または  
PR クエスト(株) 菊池泰功 Tel: 03-5365-2760



#### イントラリンクスについて:

イントラリンクス(NYSE: IL)は、企業間の機密情報共有およびコラボレーション・ソリューションのグローバルプロバイダーです。イントラリンクスのクラウドベースのソリューションは、企業のファイアウォールの外で実行される企業間の安全かつ法規制に従った機密情報の交換、共有、管理を実現します。イントラリンクスのソリューションはすでに「フォーチュン 1,000 企業」の 99%において 270 万人を超えるビジネスプロフェッショナルに利用されています。イントラリンクスのクラウドベースのソリューションを通して、これまでに 23.5 兆米ドルを超える企業買収や合併、企業提携などの大規模取引を成立させています。詳細は web サイト(www.intralinks.com)をご参照ください。

#### Intralinks Deal Flow Indicator (DFI) について:

Intralinks Deal Flow Indicator (DFI) は初期段階にある M&A トランザクションの将来見通しを統計的に分析したイントラリンクスの洞察見解を提供するものです。Intralinks DFI に含まれる統計分析は、資産売却、事業売却、私募ファンド、資金調達、増資、合併、提携などの目的で開設されたバーチャルデータルーム (VDR) または提案中のバーチャルデータルーム (VDR) の総数を反映しています。この統計データは、イントラリンクスの VDR 市場シェアや VDR サービスの市場需要などの変化に関する調整は一切行われていません。また、市場データプロバイダーによって報告される成約取引の件数と相関しないことがあります。また、ある期間内に最終的に成約されると予測される取引の量を表すものと解釈すべきでもありません。Intralinks DFI から導き出される将来完了するディール活動の指標は、デューデリジェンス段階から完了へ向かうディールの想定される割合に基づいています。これに加えて、市場データプロバイダーによって提供される統計データは、上記で規定された取引種別とは別のものを使って集計されています。

本プレスリリースおよびディールフローインディケーター (DFI) (総称して「マテリアル」) は、情報提供の目的のみに現状のままで提供されています。イントラリンクスは、本「マテリアル」の内容についての適時性、正確性、完全性に関して、いかなる保証、表明または文書での約束を行うものではありません。本「マテリアル」は、制限のある取引種別に関するイントラリンクスまたは他のプロバイダーのバーチャルデータルームプラットフォーム上で実行されたまたは実行が提案されたデューデリジェンス活動についてのイントラリンクスの所見およびイントラリンクスの主体的な解釈に基づくものです。本「マテリアル」は、過去、現在、将来のいかなる期間に対するイントラリンクスの業績または業務運用結果の指標であることを意図するものではありません。また、本「マテリアル」は完了されたディール活動の将来の見通しを約束、保証または確約することを意図するものではありません。本「マテリアル」は、投資助言を伝える、またはいかなる種類の投資を勧誘することを意図するものではありません。

Intralinks DFI は、個人使用かつ非営利使用のためにのみ使用することができます。Intralinks DFI コンテンツは、イントラリンクス明示的な文書による許可なしに、複製、配布または転用することはできません。Intralinks DFI コンテンツの転用に関する許可については、INFO@INTRALINKS.COM に連絡してください。

#### 将来予想に関する記述

本プレスリリースに含まれる将来を予測する記述は 1995 年の米国私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に基づいて作成されています。将来を予測する記述は、歴史的な情報に基づかない明示的または黙示的な記述であり、その他に、イントラリンクスの計画、意向、期待、予測、希望、信念、目標、目的および戦略に関する記述を含みます。本記述は約束または保証ではなく、様々なリスクまたは不確定要素による影響を受けることがあります。その多くは、イントラリンクスのコントロールの範囲を超えるものであり、この将来を予測する記述の期待事項から実質的に異なる結果を引き起こす原因となる可能性があります。これに基づいて、いかなる将来を予測する記述によって表明された、予測されたまたは暗示された結果が達成されることを保証するものではありません。また、読者は、いかなる将来を予測する記述も全面的に依拠しないことを警告されています。本プレスリリースに含まれる将来を予測する記述は、あくまでも本プレスリリースの発行日現在での予測を述べています。しかるが故に、イントラリンクスは、新情報の結果、将来の出来事または状況、または他の事由のいかんを問わず、本プレスリリースに含まれる情報を更新または改訂する義務を一切負うものではありません。イントラリンクスの業績結果に影響する可能性のある要因およびリスクの詳細なリストに関しては、会計年度末の 2013 年 12 月 31 日付の Form 10-K の当社の年次報告を含む、米国証券取引委員会へ提出した公開書類を適時参照してください。

#### 商標および著作権について

「Intralinks」およびイントラリンクスのロゴマークは、Intralinks, Inc. の商標登録です。本プレスリリースでは、登録商標であるかの確認をすることなく、他社の会社名および商標を参照することがあります。© 2014 Intralinks, Inc. All rights reserved